

# ようじえんだより 2021年度6月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地  
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

## 6月主題『やってみたい』

主題聖句：野原の花がどのように育つかを考えてみなさい。

ルカによる福音書12章27節

- ☆ 0歳児：保育者の祈る姿に接する。周りの人や物に興味を持ち、関わろうとする。小動物や自然に触れて遊ぶ。
- ☆ 1～2歳児：保育者の祈りの言葉に心を合わせようとする。周りの様子に気づき興味関心を持つ。見たこと、感じたことを言葉で表そうとし、共感してもらえる喜びを味わう。(保育者) 子どもが安心感を覚えながら日々を過ごし、周りの友だちや大人、物事に関わっていけるように支える。
- ☆ 3歳児：天気、草花、生き物などの話を通して、神様を感じる。泥・砂・水に触れることを楽しみ、様々な感触を体験する。(保育者) 子どもの自分でしようとする姿を大切にし、ゆっくりと待ち、支える。
- ☆ 4～5歳児：保育者と友だちと礼拝を守りながら日々を歩む。興味を持ったことに、「もっと知りたい・もっとやってみたい」と思い、繰り返し楽しむ。遊びながら手や身体を使い、様々な方法や道具使いを習得していく。思い通りにいかないことや友だちとのぶつかり合いを通し、やり直したり仲直りする体験をする。

Q. 子どもの指しゃぶりが止まりません。何か病気なのか、「さみしさ」の表れなのか。親も不安になります。(3歳 G子ママ)

A. さみしさからは逃れられない、だからさみしさを受け止めてもらうことが大切です

G子ママさん、心配な気持ちがよくわかります。このような時は「自分の育て方が悪いのか」と思ってしまいますよね。むしろ私はG子ママさんがお子さんの変化に気づいたことがすごいと思います。我が子の変化に気づけない時も親は意外と多いものでしょうから。

さて、子どもの指しゃぶりですが、実によくあることです。しかも4歳5歳になってもあり、小

学生以降にも爪かみなどもあるでしょう。これは児童精神科医の佐々木正美先生によると「欲求不満でありさみしさの表れ」だそうです。そう言われると親としてはますます落ち込みそうですが、人生では思い通りいかないことや切ない別れなど、さみしさを伴うことがあります。さみしさからは私たちは逃れることができます。そう考えるとさみしい時に気持ちを聞いてもらったり、受け止めてくれる存在のほう大切です。お子さんが小さい時は、「抱っこ」などのスキンシップをより意識されると自然となくなると思います。さみしさを遠ざけるより、共に乗り越える家族としてG子ママさん歩まれますように… 園長：久保田愛策

## 年間主題『共に喜んで～すべての歩みの中～』

主題聖句：一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、

一つの部分が尊ばれれば、すべての部分が共に喜ぶのです。

新約聖書 コリントの信徒への手紙I 12章26節